



不登校支援と多様な学び場整備／おむつのサブスクリプション (市議会れいわ新選組)



不登校支援と多様な学び場の整備について

質問 ①チャレンジクラス上水さくら学級の成果と課題は。

②学びの多様な化学学校(不登校特例校)への市の認識は。

教育長 ①成果は、不登校生徒が友人や教員との良好な人間関係を築けたことなどである。課題は、入級したが登校状況の改善が見られない生徒に対する効果的な支援方法の検討である。

②チャレンジクラス上水さくら学級は、7年度から国の研究開発学校の指定を受けて研究に取り組んでいるため、いわゆる不登校特例校である学びの多様

化学校を設置する予定はない。現在の不登校施策の充実に努め、不登校生徒への支援を進める。

おむつのサブスクリプション導入について

質問 ①おむつのサブスクリプション導入に関する市の見解は。

②モデル園を設定し実証導入するなど効果を検証しては。

市長 ①施設の方針や保育士の体制、こどもの状況、保護者の要望などが様々であるため、定額サービス導入は各施設で判断するものと認識している。

②既に導入している施設から状況を聞いており、現在、市で実証導入の実施は考えていない。



こどもの権利を保障し豊かに成長できる小平市であるために／小平の農業振興について (生活者ネットワーク)



こどもの権利を保障し豊かに成長できる小平市であるために

質問 ①仮称こども条例制定の意義の捉えと期待する効果は。

②同条例の制定に関わるメンバーについての考えは。

市長 ①こどもの権利保障やこどもの意見を反映した施策を実施していく上で意義があり、こどもにとっての最善の利益が図られることを期待している。

②関係課で構成するこども推進委員会でも素案を検討する想定である。公募市民を含む青少年問題協議会からの意見聴取や、こどもの意見を聴く機会をでき

る限り設けられるよう検討する。小平市の農業をもっともり立てるために

質問 ①認定農業者制度認定の効果と、それに対する評価は。

②有機JAS取得への認識は。

③エコ農産物認証を進めては。

市長 ①効果は農業所得の増加や農業の効率化である。農家の多くが認定更新をしており、一定の成果があると捉えている。

②意義の重要性は認識しており、情報提供などしているが、農家の負担が大幅に増えるため、認証取得は進んでいない。

③説明会で情報提供しており、相談があれば適宜対応していく。



空き家等対策課題と市民の居場所としての活用推進について (日本共産党小平市議団)



空き家等対策課題と市民の居場所としての活用推進について

質問 市民や自治会から空き家等の防犯面や破損物の飛散について相談がある。相談窓口から対応の流れ、実際の行動、対応完了までの一連の流れを分かりやすくする工夫が必要だが、対応方法と課題について見解は。

市長 近隣の空き家等に関する相談があった場合、まずは職員が現地を確認し、周囲に影響を及ぼしていると認められる場合には、空き家等の所有者等特定し、現地の写真を添えて文書を送付することにより適切な管理を依頼している。課題として

は、所有者等の特定に時間を要することや、市からの働きかけに対して、すぐに対応しない所有者等もいることである。

中央エリア等の事業規模を見直す必要

質問 中央エリアは、計画の変更や事業費の上限額を設けるべきだが計画の見直しへの見解は。

市長 近年の急激な物価高騰や人件費上昇の影響で、公共施設の更新に必要な経費も増加の一途をたどっており、直近の財政状況と事業経費の最新の見直しを踏まえ、慎重に検討、判断し、見直しを含めた調整を行っている。必要もあると認識している。



集会施設は無料維持を／会計年度任用職員も働きやすい職場へ (まちづくり市民こだいら)



集会施設等の利用者負担は無料を維持すべき

質問 ①集会施設等の利用者負担の見直しに係る考え方の整理の検討状況は。

②2019年の市民意見交換会で出された意見に基づき検討するか。

③公民館の利用者負担の見直しをする場合は、公民館運営審議会の意見を聞くべきでは。

市長 ①整理を行うに当たって必要となる観点などについて情報整理を行っている。

②市民意見交換会等での意見も踏まえて考え方を整理する。

教育長 ③今後の状況に応じて判断する。

会計年度任用職員も含め、誰もが働きやすい職場であるために

質問 ①会計年度任用職員(専門職)の報酬額は常勤職員の給料表に基づいて決めているか。

②令和6年度に勤務年数が5年となった会計年度任用職員(専門職)のうち、7年度も継続して勤務している人数は。

③会計年度任用職員(専門職)の報酬決定に職務経歴等の要素は考慮されるか。

市長 ①職務の性質や常勤職員の給与等を考慮しており、常勤職員の給料表を基に定めている。

②57人である。

③考慮していない。



不自然な契約、高すぎる落札率。官製談合が疑われるレベル (一人会派と維新の会)



不自然と思える複数の公共工事における契約について

質問 ①四小通りの雨水流出抑制施設設置工事において入札不参加の事業者と随意契約を締結したことは正当か。

②市は受注業者の登録情報について実態確認をしているか。

③四小通り、東たかの道の工事受注業者の令和6、7年度の受注件数と落札率または予定価格に対する契約金額の割合は。

④6年度及び7年度に市が発注した公共工事の件数と落札率が99%を超えたものの件数は。

市長 ①入札参加事業者以外にも聞き取りを行い選定した。正

当であると認識している。

②登録情報は、東京電子自治体共同運営電子調達サービスの資格審査を経ており、市独自で審査及び実態調査はしていない。

③四小通りの業者は7年度の1件のみで予定価格に対する契約金額の割合は99.69%である。東たかの道の業者は6年度2件と99.64%である。7年度は3件で、落札率または予定価格に対する契約金額の割合は99.97%と99.64%である。7年度は3件で、それぞれ99.09%、90.90%、99.68%である。

④6年度は契約件数33件のうち、99%超えは10件、7年度は11月13日時点で契約件数37件のうち、99%超えは17件である。



指定収集袋値下げ等を求める／市長が標榜する防災日本一とは (日本共産党小平市議団)



指定収集袋の値下げとプラスチック製容器包装袋の無料化

質問 ①燃やすごみ、燃やさないごみの指定収集袋の料金設定は多摩26市の中で一番高いのか。

②87の政策には、ごみ袋有償化後のごみ減量の効果測定をし、早期にプラスチックごみ等、ごみ袋全体の料金見直しを行うとあるが、いまだに料金の見直し等はない。約束を守るべきでは。

市長 ①本市を含め14市が1円当たり2円と最高設定額である。②第四次一般廃棄物処理基本計画で見直しの検討をしている。ごみ減量効果等を検証し、廃棄物減量等推進審議会の意見も踏まえていく。

まえ、手数料は妥当と判断した。市長の標榜する防災日本一とは

質問 公共施設マネジメントや都市計画道路などの大型事業や新規建設を抑制し、インフラなどの老朽化対策、耐震化事業に対して重点的に優先的予算配分を行う防災優先のまちづくりへと転換する必要があるのでは。

市長 現在、公共施設マネジメントによる老朽化した公共施設の更新や改修、都市計画道路の整備による緊急輸送道路の機能強化や延焼遮断帯の形成、避難路の確保などを進めており、防災・減災に資すると捉えている。



仮称公契約条例の制定を求める／差別のない多文化共生社会を (日本共産党小平市議団)



(仮称)公契約条例を制定し、市民の福祉向上を求める

質問 (仮称)公契約条例制定に向けて検討委員会の設置等を行い、条例制定を行うべきではないかと考えるが見解は。

市長 公契約条例には、労働者の賃金や労働条件の適正化、公共サービスの質の確保など一定の効果があると認識している。

一方、事業者の事務負担増加や条例適用を受けない地域での契約における競争力の低下などを懸念する見解もある。その影響を受ける事業者も少なくないことから、引き続き事業者との意見交換を重ね、検討していく。

質問 市として多文化共生社会を目指すに当たり、デマや偽の情報で外国人であるという理由で地域社会から排除することをあおるような不当な差別的発言は許されるものではないと考え

市長 第四次長期総合計画で、様々な文化及び国籍等の違いを超えて互いを尊重し、地域全体で多様性を包み込み、地域共に生きる温かい暮らしづくりを目指すとしていることから、不当な差別的発言はあってはならないと考えている。



不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるように支援するチャレンジクラス「上水さくら学級」(上水中学校1階)